

平成30年5月

はらにし

福岡市立原西小学校

《めざす児童像》
『よく学び 優しく 元気な 原西っ子』

知：進んで学び、最後までやり抜く子ども
徳：自分の事も人の事も大切にする子ども
体：明るく元気でたくましい子ども

野も山も若葉の美しい季節になりました。保護者や地域の皆様にはお元気にお過ごしのことと拝察いたします。現在、家庭訪問期間中で、担任がお宅にお邪魔させていただいております。短い時間で話したいことの半分も話せないかもしれません。でも、保護者の皆様と担任が顔見知りになって、お子様の成長のためにこれから協力していくための、最初の良い機会になればと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

1年生が133名入学しました。歓迎遠足では6年生と手を繋いで小田部中央公園へ行ってきました。6年生の方が人数が少ないので、2人の1年生と両手で手を繋いでお世話した6年生もいましたが、学校に到着した頃には1年生より6年生の方が疲れていたようです。でもよい経験でした。

家庭訪問が終わると、運動会の練習が本格的に始まります。怪我や熱中症などがないように安全第一で取り組んでまいります。

5月の放送朝会の話から

みなさん、お早うございます。今日から5月ですね。

1年生の皆さんは、今日初めて放送朝会のテレビ放送を見ていますね。2週間が経ちましたが、原西小学校にはもう慣れましたか？新しいお友だちができましたか？せっかく沢山の新しいお友だちといっしょになりましたから、みんな仲良くしてくださいね。

さて、今日はまずこのビデオを見てください。

このビデオは、7年前に起こった東日本大震災の時に、テレビで繰り返し流されたものです。5・6年生の人の中にはもしかすると覚えている人がいるかもしれません。テレビのコマーシャルで流れていました。大惨事の時には、商品のコマーシャルではなくて、このように人の心に届くようなコマーシャルを流したんですね。

5月の校長先生のお話は、「あいさつ」をどんどんしましょうというお話です。ビデオを見てわかったと思いますが、「あいさつ」をすることで、仲間がお友だちが増えます。だから「あいさつ」をどんどんしましょうね。

校長先生も、初めは「あいさつ」だけだったのが、それから少しずつお話しができるようになったお友だちがこの頃増えてきました。仲良くなれてとてもうれしく思っています。

今、原西小学校の皆さんは、人に会えば自然と「あいさつ」ができるようになっていきます。とても素晴らしいです。地域の方々からも「この頃、小学生がよくあいさつしますね。」と誉めていただきました。これからは学校で、そして今度はお家の方々や、地域の方々にもどんどん皆さんから「あいさつ」の輪を広げてください。宜しくお願いします。

どの学年の人も、新しいクラスになって、今、新しいお友だちが出来てきたんじゃないかと思います。お友だちと仲良くするために大切なことがあるので教えますね。それは、ちくちく言葉を使わないことです。その反対に「あいさつ」のようなふわふわ言葉を使うようにすればお友だちが増えますよ。どんな言葉がちくちく言葉で、どんな言葉がふわふわ言葉なのかは、みんなで考えてみてくださいね。

さあ、ゴールデンウィークでお休みの日が多いです。交通事故や水の事故などに遭わないように、特に自転車に乗る人は車に十分気を付けてください。自分の命は、自分で守ってくださいね。これで校長先生のお話を終わります。

5月の行事

1日(火)	放送朝会、聴力検査1年 PTA委員総会	17日(木)	避難訓練、クラブ活動
2日(水)	特別時制 家庭訪問(～10日)	18日(金)	社会科見学4年、内科検診1・5年
9日(水)	検尿二次	21日(月)	運動会クラス応援練習
10日(木)	あいさつ運動、歯科検診(全)	23日(水)	耳鼻科検診(全)
11日(金)	家庭訪問予備日	24日(木)	全体練習
14日(月)	PTA運営委員会	25日(金)	PTA総会
15日(火)	眼科検診4・5・6年	28日(月)	運動会応援練習
16日(水)	眼科検診1・2・3年 観劇会3・4年	30日(水)	運動会全体練習
		31日(木)	6/2(土)の代休

平成30年度 福岡市立原西小学校 学校経営構想

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○地方公務員法 等

【学校教育目標】
知・徳・体の調和がとれた心身ともに健康で
高い志を持ち、意欲的に学ぶ子どもの育成。
よく学び 優しく 元気な 原西っ子

○新しいふくおかの教育計画
後期実施計画
○福岡市いじめ防止基本方針
○福岡いきいきチャレンジプラン

知(かしこく)	徳(やさしく)	体(たくましく)
進んで学び、最後までやり抜く子ども	自分の事も人の事も大切にする子ども	明るく元気でたくましい子ども

【めざす学校像】
◇一人ひとりの個性を認め、それに合った教育をめざす学校
◇教師が一つにまとまり、秩序と規律のある学校
◇安心・安全で、通いたくなる楽しい学校
◇きれいで美しく、落ち着いた環境の学校

【めざす教師像】
◇児童・保護者に愛情を持って寄り添い、信頼される教師
◇豊かな人間性を持った、背中で教える教師
◇常に自分を高めるために努力し、学ぶ教師
◇組織の一員としての責任を持ち、互いに協同し、高め合える教師

【経営の方針】

- ① 原西スタンダードの定着(自分からあいさつ・黙ってそうじ・進んで本読み・夢にむかって)
- ② いじめや体罰、差別や偏見のない人権尊重の精神が満ちた学校・学級づくり(豊かな心)
- ③ 楽しい分かる授業づくり、全校での漢字習熟の取り組み(確かな学力)
- ④ 外遊びと運動の奨励、全校での縄跳び運動の取り組み(健やかな体)
- ⑤ 地域・保護者の教育力を学校へ取り入れ地域人材を活用した教育活動(信頼される開かれた学校)
- ⑥ 原西チームとしての職員の一体化と日常的なOJT(教職員の資質向上)

【努力目標と具体策】

<p>【努力目標1】・・・基礎基本の確実な定着と学ぶ意欲の育成(確かな学力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎すべての子どもにとって分かりやすい授業の創造 <ul style="list-style-type: none"> ○中学校ブロックでの公開授業研究会の実施(11月22日) ・テーマ研究での「型」を取り入れた授業づくり ・アクティブラーニング・体験学習の推進 ・習熟度別指導・ペアワーク・班学習・交換授業の実践 ・学習のまとめの確認と自己の変容を振り返る場の設定 ◎効果的な学習活動の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの活用やIT機器の積極的活用 ◎学習規律の徹底と家庭学習の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月初めの腰骨立て指導 ・手引を活用した家庭学習の定着【10分×学年+15分】 ◎漢字習熟のための取り組み設定 <ul style="list-style-type: none"> ・全校での原西漢字チャレンジの実施 ・チャレンジに向けた練習週間の設定 	<p>【努力目標2】・・・自分からあいさつし、自分の事も人の事も大切にできる子どもの育成。(豊かな心)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎原西あいさつ隊の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・全校朝のあいさつ運動 ◎人権教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動(掃除・集会活動) ・学級力向上プロジェクト・ワークショップ学習の拡充 ・児童の自尊感情を高める授業および取り組みの創造 ・Q-Uアンケート・ソーシャルスキル・ロールプレイング等を取り入れた人間関係作り【いじめゼロファイルの活用】 ◎道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめゼロを目指した心に響く授業の創造【言葉の指導】 ・家庭・地域と連携した共育の充実 ・地域コーディネーターとの密接な連携と地域人材開発 ◎読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館教育の活性化と読み聞かせボランティアとの協力
<p>【努力目標3】・・・家庭・地域との連携を深める教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎開かれた学校づくりと地域への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・学校だより・一斉メール等による情報の発信 ◎積極的な学校公開 <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学級と定期的授業参観、学校公開週間の充実 ◎PTA活動・地域活動への職員の積極的な参加 ◎保護者・地域の教育力活用 <ul style="list-style-type: none"> ・人材マップを活用したGTの招聘 	<p>【努力目標4】・・・インクルーシブ教育システム確立を目指した特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎コーディネーターが中心となつての校内支援委員会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会議・職員研修・情報共有の充実 ◎学級内支援方法の検証および外部機関との連携 ◎特別支援学級児童と通常学級児童の交流の充実 ◎地域・保護者への啓発推進

『みんなの笑顔があふれる学校』→児童・職員・保護者・地域のだけれども、行ってよかった・来てよかったと思える学校を目指して。